

令和5年度 社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業報告

1. 報告概要

国にあつては、超高齢化社会を迎え、高齢者人口が増加する一方で、少子化の進行は止まらず子供の数は減少し、年齢構造は劇的な変化を辿り、労働力人口の減少で様々な課題が起こる「2025年問題」への対応が求められています。特に、労働力人口の減少は、雇用や社会保障制度にも大きな影響を与え、福祉への影響は計り知れないものとなっています。

また、昨年5月から、猛威を振るっていた新型コロナウイルスもインフルエンザと同等の5類へ移行となり、企業の経済活動も再開されましたが、社会資源価格の高騰に端を発した生活必需品や電気料金値上げの影響は今も続いており、企業経営と国民生活に大きな影響を与えております。

本会では、これからの気仙沼市の福祉課題について、社協の持っている組織力を生かし、職員間の連携や地域住民及び地区社協等の福祉組織・関係者等との協働により、柔軟な対応ができるよう取り組んできました。令和5年度は、第3期気仙沼市地域福祉活動計画期間最終年であることから、次期計画となる第4期気仙沼市地域福祉活動計画を策定し、社協が有するフォーマルサービスとインフォーマルサービスを有機的に連携させ、総合的な生活支援力と見守りや助け合いができる小地域福祉ネットワークを生かした包括的な支援体制の構築を目指し、さらなる地域福祉の推進を図ってまいりました。

地域福祉を推進する中核的な団体である本会も、人材の確保がままならず、事業推進に大きな影響を受けており、安定した運営を持続させるためには、会費、寄附等の独自財源、介護保険事業及び自立支援事業の安定した収入の確保が求められますが、東日本大震災以降、人口減少の影響によるコミュニティの崩壊や企業の再建、新型コロナウイルス感染によるサービスの利用控えなどから、事業の安定した収入の確保が難しく、大変厳しい運営を余儀なくされております。このことから、職員による組織改革について協議し、組織再編のほか、予算編成時には、事業の効果測定やコスト把握による事業評価を適切に行いながら、事業の方向性を見定め、財政の安定化に向け協議し、次年度におけるコスト削減について協議を重ね、今後も本会のあるべき姿について鋭意検討してきたところです。

本会としては、地域社会を取り巻く環境を十分に認識し、ガバナンスの強化と法令遵守の徹底、職員の人材育成と確保強化に取り組むとともに、将来を見据え持続可能な組織を確立していくため、経営状況を適切に判断して責任と透明性のある運営に努め、社会的使命を果たしていくとともに、社会福祉協議会の役割を十分に認識し、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」を目指します。

【重点目標への取り組み】

1 住民主体の地域福祉活動の推進

地域福祉活動を推進するに当たっては、当事者とその家族、関係者などの特定の方だけで活動するのではなく、地域住民や企業、関係団体等の社会資源を活用することで、その地域の福祉活動が充実すると考えます。その地域に住んでいる方々、自らが地域の課題を共有、協議し「住み慣れた地域での安心・安全な生活」の実現に向けた仕組みづくりに取り組んでまいりました。

(1) 地域福祉活動推進のための担い手育成の強化

人口減少が進行していく中で、地区社協をはじめとする関係団体では、高齢化が進み後進の育成が急務となっています。また、地域福祉の担い手不足にも直面しており、担い手の育成は重要課題となっていることから、地域福祉リーダー研修や地域福祉推進フォーラム、災害ボランティア運営・設置訓練を開催し、担い手の育成に取り組みました。今後も地域福祉活動推進のための担い手育成に取り組んでいきます。

(2) 地区社協等の活動支援

地域福祉推進に向けた取組は、地区社協との連携が必要となります。会費の一部を活動補助金として交付するほか、小地域福祉活動への補助金制度を設置し、財政面での支援を行っています。地区社協事業展開にあたっての支援では、住民懇談会開催時に係る相談、連絡、調整等の支援、地区社協会長会議による情報の共有の場の設定等の支援の他、地区社協の会議等に出向き、地域福祉活動の必要性についての説明等を行いました。担い手不足から、活動が停滞している地区社協もあり、今後も基盤整備に対する支援を行いながら、地域福祉活動の中核となる地区社協の支援を推進していきます。

(3) 生活支援体制整備事業の充実強化

介護保険サービスだけでなく、地域の社会資源を活用した生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支えあいの体制づくりの充実・強化を図ってまいりました。

今後も、地域支え合い推進員と地域支え合い協力員を配置し、地域の社会資源の把握に努めると共に、支え合いの大切さを伝える啓発活動を充実させながら、地域での話し合いの場（協議体）の立ち上げを進め、話し合いから課題解決に向けた様々なネットワークづくりに取り組みます。

2 共生社会の実現に向けた取り組みの拡充

核家族化や高齢化、人口減少、働き方の変化が進み、地域での支えあいの基盤が弱体化しています。この関係性を再構築し、様々な課題に直面しても、誰もが役割を持って、お互いが配慮し、認め合い、支え合うことで豊かな生活を送ることができることが求められます。本会では、地域支え合いフォーラムを開催するなど、地域生活課題を総合的に受け止め、生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護支援、情報提供等に取り組み共生社会の実現を目指した支援を継続して地域住民を支援しながら取り組みを強化してまいります。

3 介護保険事業・障害者福祉サービス事業の質向上と健全経営

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となってからも、利用者や家族の感染によって利用を控えるケースが散見され、収入が減少となる月がありました。本会としては、在宅介護の負担軽減及び介護予防、障害者の社会参加等のニーズに応えるべく、可能な限り施設を開所できるよう感染対策を行い感染拡大防止に努めました。また、サービスの質の向上やニーズに応じたサービスの提供及び改善に向け、事業管理者会議や事故防止対策委員会、虐待防止委員会や身体拘束適正委員会を開催しています。この他、災害時における事業継続計画（BCP）の策定を行うなど、地域住民に支持・信頼されるサービス事業者となれるよう、適切な事業評価と方向性を見定め、コストの見直しを行いながら安定した事業の運営について検討していきます。

4 組織改革と経営基盤の強化

これからの地域ニーズに対応していくためには、社協の存在は必要不可欠です。社協の使命を果たせるよう、地域住民の安心・安全な生活を目指すため、組織の理念や目標、体制について検討し、持続可能な責任のある自律した組織運営と、会費、寄附、補助金、介護保険事業等の収入の確保に努め、財政基盤の強化に努めました。

（1）持続可能で責任ある組織経営

地域に開かれた組織としての透明性の確保を図り、あらゆる関係者との参加と協働を徹底し、理事会や評議員会、監査会等により責任ある組織的な判断に基づく経営を行うとともに、環境の変化に対応し、計画的に事業を展開しました。今後も、法人として高い倫理意識を保持し、日常のあらゆる活動において法令遵守を徹底し、地域の信頼を得られるよう組織運営に取り組むため、職員の資質向上の必要性から、職員研修資料を作成し、入職者に対する研修を実施します。

（2）組織の見直しと経営基盤の強化

本会の財政状況は、数年にわたって厳しい状況が続いています。経営安定化のために収入の確保が求められることから、利用者の確保と職員の適正な人員の配置を行い、収入の安定化に努めました。経営基盤の強化を図るためには、収入の確保だけでなく、費用の見直しを行う必要もあることから、コストの適正化に取り組む必要があります。また、本所の本設に向け関係機関と情報交換を行いました。公共の遊休施設がない状況から、今後も事務所の本設に向け、検討をする必要があります。

1. 法人運営事業

事業名	内容
理事会の開催	<p>【概要】法人の執行機関として、理事会を開催し、法人の適正な運営に努めました。</p> <p>① 令和5年6月6日（火）午後1時30分 出席者 理事10人 監事2人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 評議員会に提案する「次期理事・監事候補者」の選任同意について【同意】 2 訪問入浴サービスもとよし指定訪問入浴介護（指定介護予防訪問入浴介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 3 令和4年度事業報告及び決算について【同意】 4 社会福祉充実残額の報告について【同意】 5 令和5年度補正予算（案）について【同意】 6 定時評議員会の招集について【同意】 <p>② 令和5年6月23日（金）午後1時30分 出席者 理事11人 監事2人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長、副会長及び常務理事の選定について【同意】 2 事務局長の任命に伴う同意について【同意】 3 地域福祉推進委員会補欠委員の選任同意について【同意】 4 もとよし福祉用具貸与事業所指定福祉用具貸与（指定介護予防福祉用具貸与）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 <p>③ 令和6年3月19日（火）午後1時30分 出席者 理事13人 監事3人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 虐待防止対応規程制定について【同意】 2 介護職員等処遇改善加算金の支給に関する規程制定について【同意】 3 介護報酬改定に伴う関係規程の整理に関する規程制定について【同意】 4 訪問入浴サービスからくわ指定訪問入浴介護（指定介護予防訪問入浴介護）事業運営規程を廃止する規程制定について【同意】 5 令和5年度資金収支補正予算（案）について【同意】 6 令和6年度事業計画（案）について【同意】 7 令和6年度資金収支予算（案）について【同意】 8 役員等賠償責任保険契約について【同意】 9 評議員会の招集について【同意】 <p>【成果】業務執行の決定、理事の職務執行の監督などの職務を担い、社会福祉法人の執行機関として適正な運営に取り組むことができました。</p> <p>【決算額】 111,000円</p>

<p>評議員会の開催</p>	<p>【概要】 法人の議決機関として、次のとおり会議を開催し、法人の適正な運営に努めた。</p> <p>① 令和5年6月23日（金）午前10時 出席者 評議員18人 理事3人 監事3人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 次期理事・監事の選任について【承認】 2 令和4年度事業報告及び決算について【承認】 3 社会福祉充実残額の報告について【承認】 4 令和5年度資金収支補正予算（案）について【承認】 <p>② 令和6年3月28日（木）午後1時30分 出席者 評議員19人 理事4人 監事2人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度資金収支補正予算（案）について【承認】 2 令和6年度事業計画（案）について【承認】 3 令和6年度資金収支予算（案）について【承認】 <p>【成果】 法人運営に係る重要事項の議決機関として、様々なご意見をいただきながら、法人の健全経営や地域福祉事業に関する事項について承認をいただくことができました。</p> <p>【決算額】 141,000円</p>
<p>監査会の開催</p>	<p>【概要】 理事の業務執行状況及び法人の財産状況の検査のため、次のとおり監査会を実施しました。</p> <p>① 令和5年5月23日（火）、5月24日（水）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度理事の業務執行状況及び事業並びに決算監査について <p>② 令和5年11月20日（月）、令和5年11月21日（火）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度上半期理事の業務執行状況及び事業並びに決算監査について <p>【成果】 理事の業務執行の状況及び法人の財産等の状況について、厳しい財政との意見をいただき、その状況を職員間で共有し、経費の節減や稼働率の改善に鋭意努めております。</p> <p>【決算額】 156,000円</p>
<p>評議員選任・解任委員会</p>	<p>開催実績なし。</p>

【1】会員数〈会費〉

一般会費〈令和5年度決算〉	17,144世帯	5,143,200円
〈令和4年度決算〉	16,739世帯	5,021,700円
賛助会費〈令和5年度決算〉	1,969世帯	1,997,000円
〈令和4年度決算〉	2,088世帯	2,124,000円
特別賛助会費〈令和5年度決算〉	92法人・7個人	895,000円
〈令和4年度決算〉	75法人・9個人	795,000円
団体会費〈令和5年度決算〉	13団体	39,000円
〈令和4年度決算〉	13団体	39,000円

【2】役員・評議員

理事 15人 令和6年3月31日現在

監事 3人 令和6年3月31日現在

任期：令和5年6月24日から令和6年度に関する定時評議員会終結の時まで

定数：理事13人以上16人以内

監事3人以内

評議員 28人 令和6年3月31日現在

任期：令和3年6月24日から令和6年度に関する定時評議員会終結の時まで

定数：28人以上33人以内

【3】評議員選任・解任委員会

委員 5人 令和6年3月31日現在

任期：令和6年度に関する定時評議員会終結の時まで

定数：5人

令和5年度 会費納入及び助成金交付状況

令和6年3月31日現在 (単位:円)

地区社協	納			入			交				小ネット ・モアール 地区社協	合 計
	一般会費	賛助会費	特別賛助 会費	合 計	活 動 費 助 成			給食 サービ ス				
					一般会費	賛助会費	特別賛助 会費		合 計			
西	600,000	163,000	95,000	858,000	200,000	48,900	19,000	267,900				267,900
	2,000	163										
上	359,400	399,000	90,000	848,400	119,800	119,700	18,000	257,500	117,600	13,500		388,600
	1,198	389										
中央	105,000	0	15,000	120,000	35,000	0	3,000	38,000	25,500			63,500
	350	0										
魚町	86,100	76,000	0	162,100	28,700	22,800	0	51,500				51,500
	287	72										
南町・柏崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	0	0										
南	90,300	38,000	35,000	163,300	30,100	11,400	7,000	48,500				48,500
	301	38										
鹿折	419,400	248,000	475,000	1,142,400	139,800	74,400	95,000	309,200				309,200
	1,398	243										
松岩	693,900	388,000	60,000	1,141,900	231,300	116,400	12,000	359,700	63,900			423,600
	2,313	388										
新月	420,000	368,000	85,000	873,000	140,000	110,400	17,000	267,400		9,400		276,800
	1,400	361										
階上	343,500	0	0	343,500	114,500	0	0	114,500	64,800			179,300
	1,145	0										
大島	253,200	101,000	10,000	364,200	84,400	30,300	2,000	116,700				116,700
	844	99										
面瀬	360,000	202,000	20,000	582,000	120,000	60,600	4,000	184,600				184,600
	1,200	202										
唐桑	535,200	14,000	10,000	559,200	178,400	4,200	2,000	184,600		20,000		204,600
	1,784	14										
小泉	122,100	0	0	122,100	40,700			40,700				40,700
	407	0										
津谷	425,100	0	0	425,100	141,700			141,700				141,700
	1,417	0										
大谷	330,000	0	0	330,000	110,000			110,000	72,900			182,900
	1,100	0										
合計	5,143,200	1,997,000	895,000	8,035,200	1,714,400	599,100	179,000	2,492,500	344,700	42,900		2,880,100
	17,144	1,969	92	7								

※下段は加入者数
※団体会員13団体 39,000円

2. 地域福祉事業

事業名	内容
<p>地区社協会長会議の開催</p>	<p>【概要】 住民参加による地域福祉活動の推進を図るため、地区社協会長会議を開催し、情報交換等を行いました。</p> <p>【実績】</p> <p>①令和5年7月12日</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地区社協活動（地域福祉活動）支援補助金について 2 地区住民懇談会の開催について 3 令和5年度 赤い羽根街頭募金について 4 地区社協に係る今後の会議・研修等のスケジュールについて 5 令和5年度 市社協会費の取り組みについて <p>②令和5年12月22日（木）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度歳末たすけあい募金配分事業について 2 地区社会福祉協議会活動助成配分について <p>③令和6年3月22日（金）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度市社協地域福祉事業について 2 情報交換「地区社協の活動内容について」 <p>【成果】 新型コロナウイルス5類移行後の地区社協活動の取り組み強化と支援について各種補助金の紹介や意見交換を行いました。</p> <p>【課題】 引き続き、地区社協としての取り組みや運営面などに課題を抱えている地区社協もあることから、各地域での福祉活動がより活発になるよう、情報交換の機会を増やししながら種々活動支援に努めます。</p> <p>【今後の取組】 今後も地区社協間の情報交換・共有などの充実に努めるとともに、市社協との協働事業の働きかけや情報提供、相談対応を継続します。</p> <p>【決算額】 276,188円</p>
<p>地域福祉活動計画の推進と進行管理</p>	<p>【概要】 地域福祉活動計画に基づく、効果的な計画遂行に向けた実施方法等の見直しを行いながら進行管理を行いました。また、第3期地域福祉活動計画の進行管理及び第4期(次期)計画の策定に取り組みました。</p> <p>【実績】 地域福祉活動計画推進連絡会議 2回（6月，2月） 地域福祉活動計画推進委員会 4回（9月，11月，2月，3月） 第4期地域福祉活動計画(素案)に対する意見募集 （募集期間:令和6年2月9日～2月29日・場所:本所，唐桑支所，本吉支所等7ヶ所及び本会ホームページで公開）</p> <p>【成果】 令和5年度は、次期(第4期)計画の策定年度でもあることから、地域福祉活動計画推進連絡会議、地域福祉活動計画推進委員会において、第3期計画の進捗状況管理と併せて、次期(第4期)計画の策定に向けた意見交換や住民アンケート結果等を反映しながら策定作業を進めました。</p> <p>【課題】 今年度は第3期計画の最終年度になっており、現計画に基づく事業展開と併せて第4期計画の策定作業にも着手しており、これまでの</p>

	<p>課題分析とこれからの具体的取り組み内容について様々な機会を捉え意見を集めていく必要があります。</p> <p>市民・地域・事業者等地域福祉推進に関わるあらゆる方面に対する周知方法の工夫が課題です。また、取り組みの見える化や市民の地域福祉に関する意識の醸成を、地域団体や行政、関係機関と一つになり多方面から働き掛ける必要があります。</p> <p>【今後の取組】第4期計画について市担当部署と密に連携しながら、啓発等に取り組むとともに、住民主体による地域活動への積極的な推進を図ります。</p> <p>【決算額 202,508円】</p>
<p>小地域福祉活動の推進</p>	<p>【概要】誰もが地域の中で安心して生活できるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う小地域福祉活動を推進しました。</p> <p>【実績】小地域福祉活動補助金交付 3地区社協</p> <p>【成果】新型コロナウイルスが5類に移行となり、多くの地区で地域活動が活発になってきています。地域支え合い推進員と連携しながら、活動の大切さを地域に伝えながら、継続した活動ができるよう補助金の紹介や活動内容の提案をするなど支援を行いました。</p> <p>【課題】地域支え合い活動推進モデル地区社協指定事業については、指定地区の調整が難しい状況が続いており、事業自体の見直しが必要です。また、小地域福祉活動補助金を活用する地区社協も増えない状況です。</p> <p>【今後の取組】地域支え合い活動推進モデル地区社協指定事業及び小地域福祉活用補助金交付について事業の在り方や内容を検討し、引き続き小地域福祉活動の推進に努めます。</p> <p>【決算額 463,946円】</p>
<p>生活相談所の運営</p>	<p>【概要】気仙沼地域では社協本所相談室で週4日（月、火、水、金）午前9時から午後3時まで、本吉地域では本吉支所で毎週月曜日の午前9時30分から午前11時30分まで生活相談所を開設し、生活上の心配事や悩みごとの相談事業を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <p>①生活相談所</p> <p>気仙沼地域：相談員4人 開設日数 176日 相談件数 12件 本吉地域：相談員6人 開設日数 46日 相談件数 3件</p> <p>②移動生活相談</p> <p>大谷公民館 6月19日 0件、小泉公民館 6月26日 0件 大谷公民館 7月 3日 0件</p> <p>③無料法律相談</p> <p>令和5年11月9日（木） 相談件数 9件</p> <p>④相談員連絡会議</p> <p>気仙沼地域：令和6年3月22日（金） 本吉地域：令和5年4月3日（月）</p>

	<p>⑤令和5年度相談支援研修会 令和5年12月3日(木) ワン・テン庁舎</p> <p>⑥広報啓発 社協だよりや地元新聞を活用し、相談窓口や事業実施の際の周知を行いました。</p> <p>【成果】相談の内容に応じて、傾聴や他機関への紹介・助言等を行いました。</p> <p>【課題】相談員としての資質向上と相談所機能の活性化が必要です。</p> <p>【今後の取り組み】今後の事業推進のための相談体制の見直しとともに、積極的に研修会に参加し、相談員の資質向上に努めます。</p> <p>【決算額】 1,444,116円</p>
<p>広報・啓発</p>	<p>【概要】広報紙「気仙沼市社協だより」を6回(5月、6月、8月、10月、12月、2月)発行し、全戸及び関係機関に配付しました。また、ホームページの他、公式LINEによりリアルタイムでの情報発信に努めました。</p> <p>【成果】地域の活動紹介や本会活動、各種情報について発信することができました。</p> <p>【課題】より読みやすく親しみやすい紙面づくりの工夫が必要です。</p> <p>【今後の取組】引き続き広報誌やホームページ、LINEを活用し、幅広い情報提供と啓発に努めます。</p> <p>【決算額】 2,374,086円</p>
<p>本吉地域福祉まつり</p>	<p>【概要】生活の基盤となるミニ社協(地域振興会)単位で住民が主体的に集い、楽しみながら交流し学べる場づくりへの取り組みを支援することにより、住民相互のふれあいと支え合いによる福祉コミュニティづくりを推進することを目的として取り組みました。</p> <p>【実績】推進会議開催 令和5年5月19日、令和6年1月29日と、本吉地域内の各地区社協会長、振興会長等へ事業周知を行いました。地域開催は屋外活動を開催され、取り組みを支援しました。</p> <p>【成果】地域開催の実施地域は少ないものの関連事業所の協力も得ながら支援し、住民の方々は屋外での活動を楽しまれ、親睦を深められました。推進会議では地域開催の周知や、全体開催の方向性について話し合いました。</p> <p>【課題】周知を行うも事業実施に至ったのは2地域のみでした。地域のリーダーや学生を含めたボランティア等、人材が減少していることも課題となっています。</p> <p>【今後の取組】地域全体で気づき合い支え合えるよう、感染対策を継続しながら実施するとともに、地域開催については、機会を捉えて事業の趣旨説明を行い、主体的に取り組むことができるよう支援します。全体開催については、以前のかたちに捉われず、地域活動のパネル展示や活動報告も盛り込み、9月開催に向け実行委員会で協議を重ねていきます。</p> <p>【決算額】 76,991円</p>

<p>本吉地域一人暮らし高齢者 交流事業</p>	<p>【概要】一人暮らし高齢者の孤独感解消と相互交流の場を提供することを目的にボランティア団体等の協力を得て実施しました。</p> <p>【実績】 3月13日(水) 大谷地区 参加者 6人 協力ボランティア1団体 3月15日(金) 小泉・津谷地区 参加者12人 協力ボランティア1団体</p> <p>【成果】新型コロナウイルスにより、開催を見合わせていましたが、地区ごとの開催や開催時間の短縮、昼食の調理を行わないなど感染対策を行いながら、開催することができ、参加された方々も開催を待ち望んでおり、参加された方々同士の相互交流の場となりました。</p> <p>【課題】少数での開催としていましたが、想定より参加される方が少なかったことから、周知方法に加え事業内容の見直しをしていく必要があります。</p> <p>【今後の取組】事業内容について、今後も検討していきながら、対象者が参加してみたいと思える企画立案により参加率向上に努めます。</p> <p>【決算】 88,457円</p>
<p>善意銀行の運営</p>	<p>【概要】市民から多様な善意の預託を受け、その善意を地域生活支援及び住民参加による地域福祉の増進に資するよう効果的な活用に努めました。</p> <p>【実績】 預託 金銭29件 1,257,200円 物品 3件 (タオル、バスタオル、おしぼり、米、食品類) 払出 金銭29件 1,257,200円 物品 3件 (同上)</p> <p>【成果】寄付者の意向に沿い、地域の団体等への効果的な払い出しができました。</p> <p>【課題】善意銀行への寄付者の減少が見られます。</p> <p>【今後の取組】速やかな事務処理に努めるとともに、必要に応じ広報による周知を図ります。</p> <p>【決算額】 1,258,964円</p>
<p>地区社協活動費助成事業</p>	<p>【概要】地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる事業活動に関する補助金を交付し、小地域福祉活動を推進しました。</p> <p>当該地区普通会費納入額の 1/3 相当額 〃 賛助会費納入額の 3/10 相当額 〃 特別賛助会費納入額の 2/10 相当額</p> <p>【成果】補助金の交付により、地区事業への支援ができました。</p> <p>【課題】小地域福祉活動の推進や生活支援体制整備事業など、地区社協活動の促進及び協力を進めるための財源の確保が課題です。</p> <p>【今後の取組】地区社協と市社協が一体となり、様々な場面を通して事業活動の理解促進に努め、震災により減少した会員の復活や新規会員を増やすことに努めます。</p> <p>【決算額】 2,492,500円</p>

<p>屋内ゲートボール場の運営</p>	<p>【概要】市民の福祉の向上、健康増進及びスポーツ振興を図ることを念頭に運営しました。気仙沼市ゲートボール協会に管理運営を委託しています。</p> <p>【実績】開場日 112日 利用者延べ 652人</p> <p>【成果】長引くコロナ禍の影響と競技者の高齢化による競技人口の減少により利用実績は減少していますが、令和5年度は大会等も再開され、シニア層の生きがいきりや健康の維持増進等の一助となっています。</p> <p>【課題】利用状況や管理を依頼しているゲートボール協会の組織体制等も含めて、来年度以降の運営に関して意見交換を行いながら、健康増進の場としての機能や役割について検討する必要があります。</p> <p>【今後の取組】引き続きゲートボール協会との連携による施設管理を通じて健康増進の一助になるよう運営に努めてまいります。</p> <p>【決算額】 898,320円</p>
<p>気仙沼市市民福祉センター管理運営業務</p>	<p>【概要】気仙沼市市民福祉センター条例及び基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民の相互交流及び高齢者並びに障害者の自立の促進と健康の増進を図り、地域福祉の向上に努めました。</p> <p>【実績】 利用回数 1,394回 利用者数 13,719人</p> <p>【成果】福祉団体をはじめとする市内各団体に活用いただき、地域福祉の拠点施設として役割を果たすことができました。</p> <p>【課題】備品の故障や部品交換、耐用年数経過による経年劣化など修繕を要する箇所がみられるようになりました。</p> <p>【今後の取組】施設の設置目的を基本としながら、地域福祉の拠点となるよう管理運営に努めます。</p> <p>【決算額】 17,257,132円</p>
<p>気仙沼市唐桑保健福祉センター及び気仙沼市福祉の里野外施設管理運営業務</p>	<p>【概要】気仙沼市保健福祉センター条例及び気仙沼市福祉の里野外施設条例並びに指定管理に係る基本協定書に基づき、市民の健康保持・増進及び地域福祉の推進を図るため、適切な施設の維持管理に努めました。</p> <p>【実績】 利用回数 381回 利用者数 9,395人</p> <p>【成果】新型コロナウイルス感染症の5類移行等により、活動を再開する団体も増え、定期利用者に加え夜間や休日の利用もあり、地域に開けた施設として活用していただくことができました。</p> <p>【課題】施設設備の経年劣化や機器の更新時期等、修繕が必要な箇所がみられるようになりました。</p> <p>【今後の取組】利用者の安心・安全を考慮し、適切な施設の維持管理及び環境整備を行い、地域福祉活動の拠点としてサービスの向上を図り、管理運営に努めます。</p> <p>【決算額】 13,009,700円</p>

3. ボランティアセンターの運営

事業名	内容																																								
ボランティア活動推進状況 (相談・調整・育成・啓発)	<p>【概要】 ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等、ボランティアの育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めました。</p> <p>【実績】 相談10件、調整10件、育成3件、啓発3件</p> <p>【成果】 ボランティア活動希望者の相談に応じ、ボランティアの育成・啓発の推進に努めました。また、育成については高校生ボランティアを対象にボランティア入門についての講話を行った他、災害ボランティアセンター準備・運営研修や視覚に障がいのある方へのボランティア講座の開催など、育成と啓発に努めました。</p> <p>【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年ボランティア活動相談のあった気仙沼支援学校などの団体は引き続き自粛の傾向にあります。また、育成と啓発については講座等の継続開催と実際に活動に繋がる支援が必要です。</p> <p>【今後の取組】 引き続きボランティアの育成・啓発に努めます。</p> <p>【決算額】 ボランティア活動育成事業 1,053,749円 ふれあいのまちづくり事業 168,198円</p>																																								
ボランティア保険の加入	<p>【概要】 ボランティアの方々が安心して活動できるよう、ボランティア保険の加入手続きを行いました。</p> <p>【実績】 加入者 993人 (前年度 1,024人) うち、ボラ保険掛金一部助成を受けた方 671人 (前年度 695人)</p> <p>事故報告件数 0件</p> <p>【登録ボランティア等の状況について】</p> <table border="1" data-bbox="549 1464 1439 1944"> <tbody> <tr> <td>子ども</td> <td>4団体</td> <td>障害者</td> <td>2団体</td> <td>高齢者</td> <td>18団体</td> <td>まちづくり</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>保健医療</td> <td>1団体</td> <td>災害</td> <td>1団体</td> <td>地域安全</td> <td>13団体</td> <td>動物愛護</td> <td>0団体</td> </tr> <tr> <td>環境保護</td> <td>0団体</td> <td>国際</td> <td>1団体</td> <td>スポーツ</td> <td>0団体</td> <td>その他</td> <td>6団体</td> </tr> <tr> <td>登録ボランティア</td> <td>個人</td> <td>0人</td> <td>団体数</td> <td>49団体</td> <td>所属人数</td> <td>891人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協力ボランティア</td> <td>個人</td> <td>102人</td> <td>団体数</td> <td>0団体</td> <td>所属人数</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 安心してボランティア活動ができる環境の整備に努めました。</p>	子ども	4団体	障害者	2団体	高齢者	18団体	まちづくり	3団体	保健医療	1団体	災害	1団体	地域安全	13団体	動物愛護	0団体	環境保護	0団体	国際	1団体	スポーツ	0団体	その他	6団体	登録ボランティア	個人	0人	団体数	49団体	所属人数	891人		協力ボランティア	個人	102人	団体数	0団体	所属人数	0人	
子ども	4団体	障害者	2団体	高齢者	18団体	まちづくり	3団体																																		
保健医療	1団体	災害	1団体	地域安全	13団体	動物愛護	0団体																																		
環境保護	0団体	国際	1団体	スポーツ	0団体	その他	6団体																																		
登録ボランティア	個人	0人	団体数	49団体	所属人数	891人																																			
協力ボランティア	個人	102人	団体数	0団体	所属人数	0人																																			

	<p>【課題】 事故発生時に備え、保険の活用と速やかな事故報告について引き続き周知する必要があります。</p> <p>【今後の取組】 引き続きボランティア保険の加入促進及び事故発生時の保険の活用についての周知に努めます。</p> <p>【決算額】 201,300円</p>
<p>災害ボランティアセンター 準備・運営研修</p>	<p>【概要】 宮城県社会福祉協議会からの提案を受け、宮城県社会福祉協議会と本会、南三陸町社会福祉協議会の三者共催による圏域研修として実施しました。近年デジタル化が進められている災害ボランティアセンター運営の実情を知り、宮城県社会福祉協議会としても今後導入予定のkintone（キントーン）についての周知や理解を深めていただくことを目的に実施しました。</p> <p>【実績】 日 時：令和6年2月25日 場 所：本吉公民館 参加人数：32名</p> <p>【成果】 能登半島地震災害支援の現状や災害ボランティアセンターについての講話後、従来のボランティアセンターの受付の体験やkintoneについての説明をいただき、ボランティアセンター運営についての理解を深めることができました。</p> <p>【課題】 kintoneを活用した災害ボランティアセンターについては、なじみの薄いシステムであり、今後も研修を重ねていく必要があります。</p> <p>【今後の取組】 今後とも地域に寄り添いながら災害に備え、災害ボランティアセンターの設置・運営や生活復興のための支援について学ぶことのできる講座を開催してまいります。</p>

4. 福祉教育

事業名	内 容												
<p>行事参加協力調整事業 (高校生ボランティアの活動調整)</p>	<p>【概要】市内の福祉施設や団体等からのボランティア協力について調整依頼を受け、市内の各高等学校等の協力を得て高校生ボランティアの活動調整を行いました。</p> <p>【実績】市内団体の行事にボランティア調整を行ったほか、24時間テレビチャリティ募金に2校から協力をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼ライトハウス 8人 3校 ・24時間テレビ街頭募金 5人 2校 <p>【成果】高校生が活躍できるボランティア活動の場を提供することができたほか、市内団体との関係性の向上を図ることができました。また、24時間テレビ街頭募金活動では、募金の実施に合わせ、コインアートを企画・実施しました。</p> <p>【課題】依頼先である高校の学校行事との兼ね合い、既に別の団体からのボランティア依頼を受けている等の理由から、依頼を断られるケースが多いほか、感染症の影響による活動控えも少なくないのが現状です。</p> <p>【今後の取組】他事業と連携し、ボランティアについての理解を深めるよう広報啓発等に努め、高校生が主体的に活動に携わることができるような活動内容の提案等も検討しながら、若い世代のボランティア活動機会が増えるような取り組みを進めます。</p>												
<p>福祉教育・企業・団体への職員派遣事業</p>	<p>【概要】学校からの福祉教育体験の依頼に基づき、社協職員等を派遣しました。実施方法については、先方の要望に応じて内容を相談の上で行いました。</p> <p>【実績】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>出前講座</td> <td>：小学校</td> <td>2校</td> <td>延べ3回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td>3校</td> <td>延べ4回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高等学校</td> <td>1校</td> <td>延べ1回</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">内 容：福祉講話、高齢者疑似体験、ボランティア講話 車いす体験、アイマスク体験、点字体験 聴覚障害体験</p> <p style="margin-left: 40px;">対 応：社協職員ほか、地区社協協力</p> <p>【成果】一部の地域(学校)では、地区社協と連携し、地域資源と協働した福祉教育を行うことができました。</p> <p>また、今年度新たに福祉学習ガイドブックを作成・配布したことで、体験学習等の相談増につながった他、学校における福祉教育に関するアンケートを実施しました。</p> <p>【課題】毎年度、単発の体験学習の実施で終わってしまう傾向があることから、体験学習をきっかけにした福祉学習機会の拡大が図られるような仕組みづくりが必要と考えます。</p> <p>【今後の取組】学校における福祉教育に関するアンケート調査の結果を基に、教育委員会の協力を得ながら、福祉担当教諭の意見交換会を実施し、今後の福祉教育の在り方について検討を行います。</p> <p>【決算額】 50,000円</p>	出前講座	：小学校	2校	延べ3回		中学校	3校	延べ4回		高等学校	1校	延べ1回
出前講座	：小学校	2校	延べ3回										
	中学校	3校	延べ4回										
	高等学校	1校	延べ1回										

<p>福祉教育活動費補助金交付事業</p>	<p>【概要】 継続した福祉教育・ボランティア学習の支援を行うため、市内小・中・高等学校に補助金を交付しました。</p> <p>【実績】 補助金申請校数 小学校 2校 36,390円 中学校 1校 20,000円 高校 1校 20,000円</p> <p>【成果】 市内の学校に福祉教育活動費補助金を交付し、継続した福祉教育の支援を行うことができました。</p> <p>【課題】 補助金の案内と同時に福祉教育ガイドブックを送付し、福祉教育についての相談は増加しましたが、活動費の利用増加にはつながりませんでした。</p> <p>【今後の取組】 令和5年度に実施した福祉教育についてのアンケート調査結果を基に、福祉教育担当者等による意見交換会を実施し、福祉教育活動費補助金について周知を進め、当該補助金利用校の増を目指します。</p> <p>【決算】 76,390円</p>
<p>敬老作文募集事業</p>	<p>【概要】 敬老をテーマにした作文に取り組むことで児童が高齢者への理解を深め、敬老の心を培うことを目的に市内の小学校を対象として作文を募集し、元教員、児童福祉関係者等9人の審査により、最優秀作品6点、優秀作品18点を選びました。受賞作品は、社協だよりのほか、学校や企業の協力を得て、地元新聞へ掲載しました。また、K-NETにおいて最優秀賞児童の作文朗読出演のほか、受賞作品の作文集を作成し、関係者に配付しました。</p> <p>【実績】 応募学校数：市内14校 応募総数（学校への提出作品）：155点 各学校からの選考作品数（審査対象作品）：64点 受賞作品総数：24点</p> <p>【成果】 作文に取り組むことで高齢者に対する理解の促進と思いやりやいたわりの心を培うことの一助となりました。</p> <p>【課題】 審査会において、審査員より漢字等の表記上の間違い、題名と内容の不一致などの指摘がありました。このことについては、報告事項として学校へ伝達しました。</p> <p>【今後の取組】 児童の高齢者福祉に対する理解促進のため、事業を継続します。</p> <p>【決算額】 267,258円</p>

5. 資金貸付等事業

事業名	内容
生活福祉資金貸付事業	<p>【概要】資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進及び在宅福祉並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう資金の貸付や相談支援を行いました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の償還が開始されたことから、償還免除や猶予申請に関する問い合わせに対し、書類作成の助言や県社協へ繋ぐ等の対応に努めました。</p> <p>【実績】 2件 緊急小口資金 180,000円</p> <p>【総貸付件数】(令和6年3月末日現在)</p> <p>(1) 生活福祉資金 98件 66,108,467円</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付</p> <p>①緊急小口資金特例 162件 22,732,640円</p> <p>②総合支援資金特例貸付 231件 105,371,550円</p> <p>(3) 台風15号による緊急小口資金特例貸付 1件 4,160円</p> <p>(4) 東日本大震災による緊急小口資金特例貸付 188件 17,348,780円</p> <p>【成果】一時的に資金を必要とする世帯に対し、貸付を行うことで、生活の安定を図ることができました。また、貸付要件に該当せず、継続的な相談支援が必要と思われる方は、生活困窮者自立相談支援機関へ繋ぎ、課題解決に向けた必要な支援に取り組むことができました。</p> <p>【課題】返済の見通しが無い慢性的に困窮している世帯からの相談が多く見受けられます。生活困窮者自立相談支援機関とより一層連携を図りながら世帯の自立支援に取り組む必要があります。</p> <p>【今後の取り組み】宮城県社会福祉協議会や担当民生委員、自立相談支援機関と連携しながら世帯の自立支援に努めます。</p> <p>【決算額】 8,489,563円</p>
生活安定資金貸付事業	<p>【概要】低所得世帯に対し、緊急かつ一時的に必要な生活資金の貸付を行うことにより、その世帯の自立更生を援助し生活の安定に資することを目的として小口の貸付を行いました。</p> <p>【実績】 5件 226,000円</p> <p>【総貸付件数】(令和6年3月末日現在) 11件 345,000円</p> <p>【成果】緊急に資金を必要とする世帯に対し、迅速に対応することで生活の安定を図ることができました。また、関係機関とともに働きかけを行い、滞納者からの返済に繋がったケースもありました。</p> <p>【課題】長期滞納者への対応が課題です。</p> <p>【今後の取り組み】今後も定期的に通知を送るなど償還への働き掛けと、担当民生委員と連携しながら生活実態の把握に努めます。</p> <p>【決算額】 232,040円</p>

6. 援護活動

事業名	内容
<p>交通・海難等遺児に対する 就学支援費の支給事業</p>	<p>【概要】交通事故、海難事故、労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方又は双方が死亡した満18歳以下の高校在学までの者に対して、民生委員・児童委員を通じ就学支援費を支給しました。</p> <p>【実績】遺児家庭 28世帯 遺児数 43人 贈呈金額 310,000円 高校生 10,000円×13人 中学生 8,000円×10人 小学生 5,000円×20人</p> <p>【成果】遺児とその家族との対面での支援を通じ、相談しやすい環境づくりができました。</p> <p>【課題】本事業については、交通遺児等お年玉募金委員会による寄付を活用し実施していますが、市内の交通遺児については皆、成人となり交通遺児等お年玉募金委員会はその活動を終了しています。当面は従来通りの支援を行いますが、将来的に財源不足となることが見込まれます。</p> <p>【今後の取組】当面は従来通り民生委員・児童委員による対面での支援を行い、相談しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>【決算額】 315,612円</p>

7. 生活支援・障害福祉事業

事業名	内容
<p>日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業)</p> <p>気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター(まもりーぶ気仙沼・南三陸)</p>	<p>【概要】 認知症、知的障害、精神障害等の何らかの理由で判断能力が不十分な方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、定期的な訪問による見守りと福祉サービスの利用援助、日常的な金銭、書類管理等のサポートを行いました。個人の権利を擁護するとともに、意思決定を尊重しながら、日常的な生活の自立支援対策として事業を実施しました。</p> <p>【実績】 相談件数 2,844件 新規契約件数 11件 年度末実利用者計 57名(気仙沼市:42名 南三陸町15) (うち認知症高齢者20名、知的障害者17名、精神障害者13名、その他7名)</p> <p>【成果】 高齢者や障害を持った方々に関わる支援機関や親族等からの問い合わせや具体的なサービス利用に向けての相談は、例年と同程度の件数が寄せられており、福祉サービス等の利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理のサポートを行うことにより、個別のサービス利用では問題解決しない方々の生活の安心を支える、大きな役割を持った事業の一つとなっています。コロナ等の感染症予防の対策が採られ、施設等での面会や利用者宅への積極的な訪問に制限がある中においても、支援計画に基づいた定期的な訪問を行うことで地域での生活を支援することができました。また、自身での保管が難しい書類等についても、市内金融機関の貸金庫に預けることで財産を保全することができました。</p> <p>【課題】 ここ数年、利用者数と新規契約件数に大幅な増減はありませんが、専門的な関係機関との調整が必要とされ、本事業の範疇では対応困難なケース相談も増加しています。現在契約を締結しているケースの中にも、成年後見制度の利用が適当とされる事例も多く、同制度へのスムーズな移行ができるよう、これまで以上の連携と協働を前提としたスキルアップと総合的な権利擁護への取り組みも必要となっています。また、親族が高齢となったり、判断能力が不十分となったり、サポートを得ることが難しくなった方も増え、親族に関わる支援機関との連携や調整が新たな課題となっています。本事業は、他のサービスや事業では対応しづらい金銭管理に関しても支援範囲としているため、地域の福祉・保健・医療からの役割の期待は大きなものとなっていますが、金銭管理だけを目的とするサービスと見られるなど、事業の役割や対象者、支援範囲について十分理解されておらず、本来の役割以外のことを求められる等の課題も生じています。</p> <p>【今後の取組】 生活支援員を担える福祉的人材育成のほか、職員の資質向上を目的とした研修会の開催、成年後見制度を見据えた体制作り等、関係機関との連携を密にしながら事業の推進と周知啓発を行います。</p> <p>【決算額】 10,468,183円</p>

<p>フードバンク事業</p>	<p>【概要】みやぎ生協との協定により飲食物の提供を受け、緊急時の生活支援の一助として、主に本会における資金貸付相談者で生活困窮世帯への食料支援を行いました。</p> <p>【実績】 5件</p> <p>【成果】生活に困窮し貸付が決定するまでの間、必要な食料支援を行うことで、食の確保をすることができました。また、支援が必要と思われる方については、自立相談支援機関へ繋ぎ継続的な利用を進めました。</p> <p>【課題】在庫の状況により、提供可能な食品と数に変動があります。</p>
<p>ガイドヘルパー派遣事業</p>	<p>【概要】視覚障害者の社会参加を支援し、視覚障害者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、視覚障害者介添人の派遣を行いました。</p> <p>【実績】 活動延人数 40人（前年度 20人） 依頼件数 37件：実人数3人、1団体（前年度 21件）</p> <p>【成果】団体の活動が再開し、依頼数が増えたほか、個人利用では通院などを中心に利用がありました。また、視覚に障がいがある方へのボランティア講座を開催し、活動者のフォローアップを行いました。</p> <p>【課題】依頼数が増えてきた半面、活動登録者の減少により、派遣調整が難しい場合があります。</p> <p>【今後の取組】視覚障害者が安心して社会参加ができるよう、引き続き資格障害者介添人の派遣を行います。また、ガイドヘルパー養成講座を実施し、新規活動者の育成を行います。</p> <p>【決算額】 106,960円</p>
<p>視覚に障がいがある方へのボランティア講座</p>	<p>【概要】視覚に障がいのある方の外出を手引きサポートするガイドヘルパーのフォローアップを行ない、活動者の質の向上を図り、併せてガイドヘルパー活動に興味のある方の参加を募り、視覚障害に対する理解を深め、ボランティア活動者の裾野を広げることを目的として開催しました。</p> <p>【実績】 日 時：令和6年1月27日 午前10時から午後3時 場 所：気仙沼市中央公民館 参加人数：13名（ガイドヘルパー6名、一般参加者7名）</p> <p>【成果】コロナ禍により、4年ぶりの開催となったことから、講座内容は基礎の確認を行うこととし、来年度に行う養成講座の入り口として、未経験者の参加も併せて募りました。視覚障がいについての講義のほか、視野狭窄や白内障の疑似体験を行い、2人1組となって安全な介助方法の基礎を学習し、理解を深めました。昼食休憩時には、ガイドヘルパー活動時の疑問を講師に確認するなど、今後の活動につながる有意義な講座となりました。</p> <p>【課題】新規活動者獲得のための周知を行う必要があります。</p> <p>【今後の取組】ガイドヘルパー養成講座を行い、新規活動者の育成に努めます。</p>

録音サービス事業	<p>【概要】地域のボランティアである「朗読奉仕あいの会」や「本吉響高校生徒」の他、「個人ボランティア」の協力を得て、「広報けせんぬま」・「社協だより」等を朗読録音し、市内の視覚に障がいのある方へお届けしています。</p> <p>【実績】 発行回数 気仙沼 12回 利用者数 15人 本吉 12回 利用人数 2人 声の広報協力者交流会 参加者 5名</p> <p>【成果】視覚障害者の方へ情報提供を行うことができました。また、本吉エリアにおいて声の広報協力者交流会を実施しました。</p> <p>【課題】利用者、活動者共に減少が見られます。</p> <p>【今後の取組】継続して情報の提供を行いながら、活動者の育成やスキルアップを行い、活動者の増を目指します。また、利用者についても減少が見られることから、広報等を活用し、サービスの周知を図ります。</p> <p>【決算額】 15,572円</p>
点訳サービス事業	<p>【概要】依頼を受けた資料を点訳しています。</p> <p>【実績】点訳依頼件数1件（前年度0件）</p> <p>【成果】点訳資料の作成により、視覚に障がいのある方へ円滑な情報の提供を図ることができました。</p> <p>【課題】現在、市内に点訳ボランティアがいない状況にあります。依頼件数も少ないことから、担当職員が点訳できるパソコンソフトを使用して対応しています。点訳ボランティアについては、宮城県視覚障害者情報センターが実施する点訳奉仕員養成講座の修了が必要となるため、養成が難しい状況にあります。今後、依頼件数が増えてきた場合に対応する体制の整備が課題です。</p> <p>【今後の取組】今後とも継続して情報提供を行うとともに、点訳ボランティアの育成について検討します。</p>
障害者との交流事業	<p>【概要】障害のある方とその家族が、地域住民や関係機関等との交流を通して、顔の見える関係の構築と相互理解の促進を図るとともに、障害に関する事業やサービス、制度について啓発し、障害への関心を深める機会となるよう実施しました。</p> <p>【日時】令和5年12月9日 午前10時から正午</p> <p>【場所】市民福祉センター やすらぎ</p> <p>【実績】来場者：約120名、参加事業所：5事業所、協力団体等：5団体25名</p> <p>【成果】就労支援事業所の紹介をはじめ、障害者スポーツ等の体験ブースにおいて、参加者同士が交流しながら楽しむ様子が見られました。</p> <p>【課題】周知不足もあり、地域の方の来場が少なく、障害者に対する相互理解促進については、達成できませんでした。</p> <p>【今後の取組】障害に対する理解を深める機会として、各関係機関と協力しながら、障害者福祉週間での実施を継続します。</p> <p>【決算額】 50,692円</p>